

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
ホタテガイ振興室、漁場環境部
青森県 東青地方水産事務所
下北地方水産事務所
水産振興課
青森市水産振興センター

ホタテガイ採苗速報

稚貝採取は1分5厘で西湾は7月第1週 東湾は第2週からできる見込み 平年より殻長が大きいので早めに作業を始めましょう

1 ホタテガイの付着状況

6月21～25日に行った第2回全湾付着稚貝調査結果は図1～3および別表1、2のとおりです。ホタテガイ稚貝の平均付着数は、間引きや袋替えをしないものでは西湾で8,739個/袋、東湾で112,329個/袋とそれぞれの平年値(過去10年の平均値)117,188個/袋、304,938個/袋より少なくなっていますが、昨年それぞれの平均付着数、3,638個/袋、2,912個/袋より多くなっています。また、外ヶ浜の平均は25,728個/袋、蓬田～平内町浦田の平均は4,492個/袋と地区によって付着数にバラツキが見られました。間引きや袋替え後の平均付着数は、東湾で28,224個/袋でした。

稚貝の平均殻長(間引き・袋替えなし)は、西湾で4.31mm、東湾で3.44mmとそれぞれの平年値2.71mm、1.99mmより大きい状況です。間引き、袋替え後の平均殻長は、東湾で3.82mmでした。

2 ムラサキガイ・キヌマトイガイ等の付着状況

ムラサキガイの付着数(袋替えなし)は、全湾平均で79,739個/袋と平年値84,025個/袋とほぼ同じで、キヌマトイガイは、全湾平均で2,465個/袋と平年値116,800個/袋より少なくなっています。

- ・ 下線は平均殻長
- ・ ()内は間引き、袋替え後の値

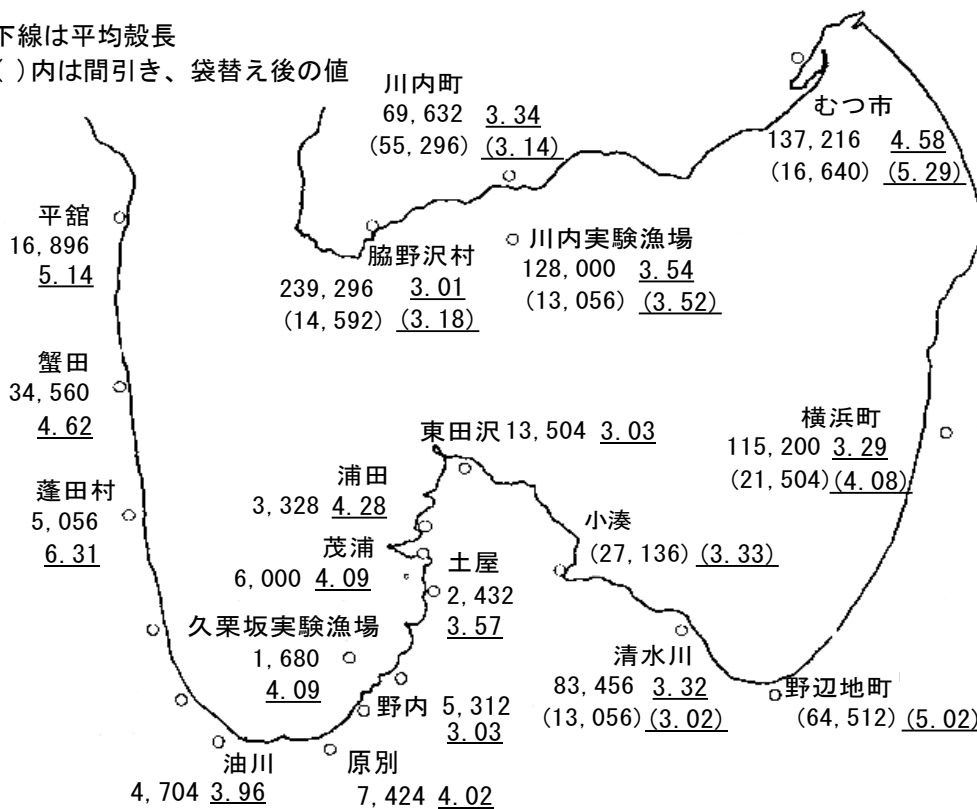


図1 調査地点毎の付着数〔単位：個/袋、(平均殻長mm)〕

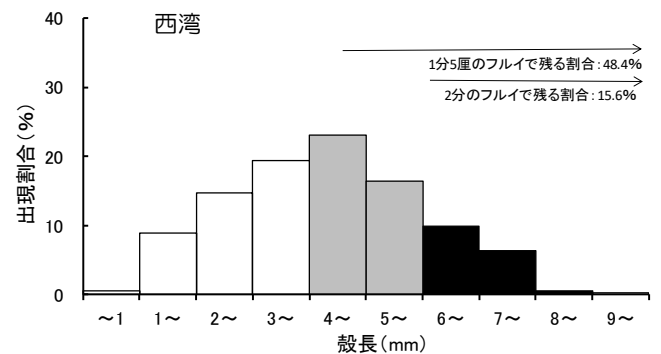


図2 ホタテガイ殻長組成(西湾平均、間引きなし)

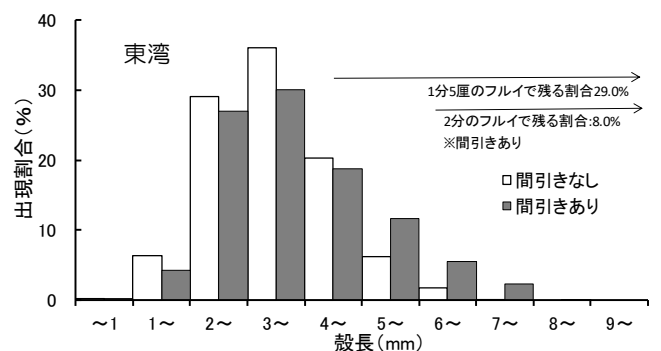


図3 ホタテガイ殻長組成(東湾平均)

3 今後の見込み

稚貝採取について、1分5厘では西湾で7月第1週、東湾で第2週から、2分では西湾で第2週、東湾で第3週からできる見込みです(表1)。

ただし、付着数や今後の水温の動向によって成長に差が生じるので、稚貝の成育状況を見ながら作業を進めてください。

なお、平年より稚貝のサイズが大きく、ムラサキガイの付着も多いこと、また夏季高水温の危険性も踏まえて、早めに稚貝採取を始めて、体力のある貝をつくりましょう。

稚貝採取時の注意事項は次ページにあります。

表1 稚貝採取予測時期

目合	フルイに8割残る割合	
	西湾	東湾
1.5分	7月第1週	7月第2週
2分	7月第2週	7月第3週

※東湾は間引きありの殻長組成から予測

4 お知らせ

西湾より殻長の小さい地区が見られる東湾については、7月8日に4か所で第2回臨時付着稚貝調査(間引き・袋替え後の中層1袋)を実施し、7月11日の採苗速報第13号に掲載しますので、参考にしてください。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード (1)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード (2)

ほたてナビ スマートフォン用QRコード (3)



5 稚貝採取時の注意事項

(1) 稚貝を大切に扱きましょう。

○作業は早朝の涼しい時間帯に行い、タライや水槽の水温が上がらないように、シート等で直射日光を防ぎましょう。

○高水温時にはタライや水槽の水は出来るだけ深い水深帯から汲み上げるようにしましょう。水温上昇や酸欠で稚貝が死んだり、成長不良になる危険性があるので、タライや水槽の水はかけ流しにするか頻繁に交換しましょう。

○稚貝は、海水温が26℃を超えるとへい死の危険性が高くなります。海水温を計ったり、海況自動観測ブイならびに水温自動観測ブイの水温（1ページのURL、QRコード）を参考にしながら26℃を超す日は稚貝採取をしないでください。

○稚貝は乾燥にも弱いので、手早く作業を行いましょ。

○稚貝採取が遅くなるほどムラサキガイが成長し、ホタテガイ稚貝とくっつきやすくなり、作業効率が悪くなるので注意しましょう。

○採苗器内の稚貝は成長や水温上昇に伴い、袋の下に落ちて溜り、異常貝率やへい死率が高くなるので、稚貝採取は早めに完了しましょう。

(2) 適正保有数、適正収容数を守りましょう。

○稚貝採取では決められた保有数を守りましょう。

○パールネット1段当たりの収容数を適正にしましょう。稚貝がへい死しない分散時の中層水温は23℃以下です。分散が遅れると稚貝が成長し、過密状態になることから異常貝が多くなります。分散が遅れる可能性があるパールネットには、稚貝を少なめ（50～100枚/段）に入れましょう。

(3) 採取後の管理に気をつけましょう。

○採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進めましょ。

○水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、採取後は施設を中層以深に沈めましょ。また、立ちきり（土俵）やオモリをつけて、施設やネットを安定させましょ。

○採取後も一部の採苗器を残しましょ。

○余剰貝は融通しましょ。